

2022年4月6日

中外炉工業株式会社
大阪府中央区平野町3-6-1
TEL 06-6221-1251

堺事業所に「熱技術創造センター」を新設 ～研究開発施設を再編し、R&D体制をさらに強化～

中外炉工業(本社:大阪府中央区)は、カーボンニュートラルをはじめとする次世代への変革に応えるべく、主要拠点の整備・統合を目的として、「熱技術創造センター」の新設を含む研究開発施設の再編を決定いたしました。

この再編によって最新鋭設備による研究開発力の強化、社内外の開発共創の活性化を行い、経営理念に掲げる「新しい価値の創造」を活発かつ迅速に行える次世代の開発型企業へと進化を遂げ、顧客ニーズの多様化や製品ライフサイクルの変化に対応するとともに、持続可能な社会の実現に向けて一層貢献してまいります。

■再編のポイント

1. カーボンニュートラルへの貢献を最重要目的とした「最新鋭研究施設」へ
2. 迅速かつ、効率的な開発活動の推進を目的とした堺事業所への集約による「効率的な研究施設」へ
3. 社内外の「共創」によるイノベーション活性化を目的とした「見せる・学ぶ・集う研究施設」へ

研究開発施設再編の概要

| | |
|------|----------------------|
| 投資総額 | 約 10 億円 |
| 延床面積 | 7,261 m ² |
| 着工時期 | 2022 年 9 月 |
| 完成時期 | 2023 年 11 月 |

| 新施設名 | 主な研究開発・設置内容 |
|---------------------------------|---|
| 熱技術創造センター (現 C 工場) | 脱炭素・省エネ燃焼技術開発を強化する「燃焼ゾーン」、全固体電池電解質など注目素材処理の開発に特化した「機能材ゾーン」、最新のデジタル機器導入などでアイデア創出を図る「共創スペース」で構成 |
| 金属熱処理研究所 (現 技術研究所 第1 研究棟) | カーボンニュートラルのあらゆるニーズに対応するガス浸炭炉を設置 |
| ゼロエミッション研究所 (現 技術研究所 第2 研究棟) | 資源リサイクル関連技術、環境負荷低減技術、高機能材加熱・冷却技術を開発 |
| 真空浸炭研究所 (A 工場の一部を改装) | ニーズが拡大する真空浸炭炉の最新型を設置 |
| コンバーテック研究所 (現 B 工場) | 半導体製造などでの普及を目指した高機能材薄膜塗布技術を開発 |

※本再編に伴い、燃焼研究所(大阪府柏原市)は撤去、売却の予定。



熱技術創造センター イメージ

以上

【お問い合わせ先】

中外炉工業株式会社 経営企画部：太田
 〒541-0046 大阪市中央区平野町 3-6-1
 TEL 090-6021-9684/Web_Master@n.chugai.co.jp